

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】令和6年2月1日(2024.2.1)

【公開番号】特開2022-26444(P2022-26444A)

【公開日】令和4年2月10日(2022.2.10)

【年通号数】公開公報(特許)2022-025

【出願番号】特願2020-129918(P2020-129918)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和6年1月24日(2024.1.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果に基づいて所定遊技状態よりも遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させることができ可能な手段と、

前記特定判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果に対応した報知結果とされるようにして、遊技回が行われるように制御する手段と、  
を備え、

前記所定遊技状態及び前記特別遊技状態とは異なる遊技状態として第1遊技状態と第2遊技状態とを有しており、

前記特別遊技状態の終了より後に前記第1遊技状態に移行させることができ可能となっており、

前記第1遊技状態又は前記第2遊技状態である特定遊技状態において複数の遊技回に亘って所定演出を実行することが可能な手段と、

前記所定演出が実行されている何れかの遊技回において、前記特定判定の結果が前記特別遊技状態への移行に対応した結果になったか否かを遊技者が認識可能な特定演出を実行することができる手段と、  
を備え、

前記所定演出の実行中に実行され得る表示として前記特定遊技状態で実行可能な残りの遊技回数に相關のある相關表示を含んでおり、

前記特定判定の結果が前記特別遊技状態への移行に対応しない結果である遊技回にて前記特定演出が実行され、当該遊技回の後の遊技状態が前記特定遊技状態である状況で、現在の前記残りの遊技回数に応じて前記相關表示の表示態様を変更することができる構成されていることを特徴とする遊技機。

【請求項2】

前記相關表示の変更が、前記特定演出が行われる遊技回にて実行され得るように構成されていることを特徴とする請求項1に記載の遊技機。

【請求項3】

前記特定演出は、前記特定判定の結果が報知される前の第1パートと、当該結果が報知さ

50

れた後の第 2 パートとを含み、

前記相関表示の変更が前記第 2 パートにおいて実行されることを特徴とする請求項 2 に記載の遊技機。

**【請求項 4】**

前記特定判定の判定モードとして、低確率モードと、前記特別遊技状態への移行に対応した結果となる確率が前記低確率モードよりも高くされた高確率モードとを有しており、前記所定演出の実行中に実行され得る表示として、前記相関表示としての第 1 相関表示と、前記判定モードに相関のある第 2 相関表示とを含んでおり、

前記特定判定の結果が前記特別遊技状態への移行に対応しない結果である遊技回にて前記特定演出が実行され、当該遊技回の後の遊技状態が前記特定遊技状態である状況で、現在の前記判定モードに応じて前記第 2 相関表示の表示様式を変更することが可能に構成されていることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

10

20

30

40

50

**【請求項 5】**

前記第 1 相関表示と前記第 2 相関表示との一方の表示様式が変更される場合に、前記第 1 相関表示と前記第 2 相関表示との他方の表示様式の変更が回避される構成となっていることを特徴とする請求項 4 に記載の遊技機。

**【手続補正 2】**

**【補正対象書類名】**明細書

**【補正対象項目名】**0006

**【補正方法】**変更

**【補正の内容】**

**【0006】**

本発明は、

所定の判定契機の成立に基づいて特定判定を実行する特定判定手段と、

前記特定判定の結果に基づいて所定遊技状態よりも遊技者にとって有利な特別遊技状態に移行させることができ手段と、

前記特定判定が行われることに基づいて遊技回用動作が開始され、前記特定判定の結果に応じた報知結果とされるようにして、遊技回が行われるように制御する手段と、  
を備え、

前記所定遊技状態及び前記特別遊技状態とは異なる遊技状態として第 1 遊技状態と第 2 遊技状態とを有してあり、

前記特別遊技状態の終了より後に前記第 1 遊技状態に移行させることができとなっており、

前記第 1 遊技状態又は前記第 2 遊技状態である特定遊技状態において複数の遊技回に亘って所定演出を実行することができ手段と、

前記所定演出が実行されている何れかの遊技回において、前記特定判定の結果が前記特別遊技状態への移行に対応した結果になったか否かを遊技者が認識可能な特定演出を実行することができ手段と、

を備え、

前記所定演出の実行中に実行され得る表示として前記特定遊技状態で実行可能な残りの遊技回数に相関のある相関表示を含んでおり、

前記特定判定の結果が前記特別遊技状態への移行に対応しない結果である遊技回にて前記特定演出が実行され、当該遊技回の後の遊技状態が前記特定遊技状態である状況で、現在の前記残りの遊技回数に応じて前記相関表示の表示様式を変更することができますに構成されていることを特徴とする。